

公立病院改革プランの概要

団 体 名	つがる西北五広域連合								
プ ラ ン の 名 称	つがる西北五広域連合鱒ヶ沢病院改革プラン								
策 定 日	平成 21年 3月 1日								
対 象 期 間	平成 21年度 ～ 平成 25年度								
病院の現状	病 院 名	つがる西北五広域連合鱒ヶ沢病院							
	所 在 地	青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町字蒲生106-10							
	病 床 数	100床(平成21年3月16日より100床)							
	診 療 科 目	内科、小児科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、歯科(8科)							
公立病院として今後果たすべき役割(概要)	<p style="color: red;">当院は、2市4町で構成しているつがる西北五広域連合の自治体病院機能再編成により、平成24年4月に町営による運営から広域連合による運営へと経営を移管したが、今後は平成25年度末に開院される中核病院と連携を図るサテライト病院としての重要な役割を担っている。また、西海岸地域唯一の公的病院として、へき地拠点病院及び救急医療の役割を担うとともに、民間病院では提供の出来ない医療を中心に地域住民の健康と福祉を守る医療の提供に努めていきます。</p>								
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要)	<p>地方公営企業法第17条の2 収益的収支 (1) 企業債償還利子に要する経費 (2) へき地医療の確保に要する経費 (3) 救急医療の確保に要する経費 (4) 高度医療に要する経費 (5) 保健衛生行政事務に要する経費 (6) 経営基盤強化対策に要する経費 資本的収支 (1) 建設改良に要する経費の1/2(起債分を除く) (2) 企業債償還元金に要する経費2/3(14年度以前分)ないし1/2(15年度以降分) (3) 不良債務発生による資金不足に要する経費</p>								
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	備考
経営効率化に係る計画	経常収支比率(%)	82.0	85.8	95.5	96.6	85.2	96.7	96.8	
	職員給与費比率(%)	45.7	44.1	41.6	42.4	43.1	41.7	41.7	
	病床利用率(%)	45.3	43.9	41.8	36.4	38.6	38.5	38.5	
	不良債務比率(%)	22.2	15.6	16.6	19.1	—	—	—	
	患者1日当たり診療収入(入院)	24,491	26,020	28,292	26,942	27,077	27,105	27,105	
	患者1日当たり診療収入(外来)	10,119	11,211	12,775	13,030	12,464	13,179	13,179	
	職員1人1日当たり診療収入(医師)	465,113	379,162	386,484	384,935	409,769	338,630	338,630	
職員1人1日当たり診療収入(看護部門)	64,828	69,961	75,179	70,977	77,408	80,394	80,394		
上記目標数値設定の考え方	<p>H21年3月から140床から100床に病床削減した。 またH22年度途中で、常勤医師の退職等があり計画時(内科2名、外科医3名、歯科医1名)より医師2名(内科医1名、外科医1名の減)のため、病床利用率の減等を考慮しながら医療提供の内容を反映し、患者単価に直接結びつく指標を選択した。 (経常黒字化の目標年度: 23年度)</p>								

				団体名 (病院名)	つがる西北五広域連合 (鱒ヶ沢病院)				
公立病院としての医療機能に係る数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	備考
夜間救急患者数(人)		3,134	2,406	2,142	2,052	2,015	2,000	2,000	
救急車による患者数(人)		425	363	229	255	265	250	250	
訪問看護(訪診)件数(人)		1,208 (491)	1,117 (469)	1,067 (397)	1,137 (370)	884 (330)	1,000 (350)	1,000 (350)	
手術件数(人)		221	171	123	122	204	200	200	整形外科分減
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入							
		BSC、部門別原価計算等の民間的経営手法等の導入がなされていない状態であり、自治体病院機能再編成の計画の中で、業務を精査し民間委託推進を検討するものとする。							
		事業規模・形態の見直し							
		平成24年4月から病院運営をつがる西北五広域連合へ移管し、経営形態については地方公営企業の経営組織を一般行政から切り離し、病院経営のための独自の権限を有する管理者を置き、人事・組織・財務など地方公営企業法の全てを適用している。現在、平成25年度末開院予定である中核病院を中心にサテライト病院2病院と診療所2施設での運営を整備中である。又、現在の患者数と医師数では入院患者の増を見込める状況ではないことから、一部病棟を休止しベッド数を縮小している状態である。							
		経費削減・抑制対策							
収入増加・確保対策		一部病棟休止に伴い退職者の不補充、臨時職員の整理による人件費の削減、委託費等の経費削減、医療材料等の削減を実施しているが、更なる経費削減を図るため、医薬分業を検討し薬品等の経費削減を行なうことにしている。また、医療機器については修繕不能となった時点でリースで対応していく。							
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療連携をによる患者の紹介及び検査紹介等を行い、収入の増加を図る。 ○職員研修を積極的にを行い、知識、技術の向上に務め、安全と信頼の医療を提供して患者の増を図る。 ○看護基準の見直しを行い収入の増を図る。 13:1から10:1(平成20年10月より実施済み)。 ○医師の充足を図り、患者に安全と信頼の医療を提供し患者の増を図る。 							
各年度の収支計画		別紙1のとおり							
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	61.10%	18年度	63.5%	19年度	45.3%	20年度	43.90%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	現在、つがる西北五医療再編成および医師確保の状況を見据え、平成21年3月に病床を140床から100床へ削減した。また、医師不足により1病棟を利用休止している状態である。							

		団体名 (病院名)	つがる西北五広域連合 (鱒ヶ沢病院)
再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	別紙2のとおり	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	別紙3のとおり	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 別紙4のとおり	<内容>
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所)に☑を記入)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input checked="" type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合	
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所)に☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 別紙4のとおり	<内容>
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	つがる西北五広域連合運営審議会を設置し、点検・評価を行う。	
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	8月に運営委員会に実績報告し、点検・評価を行う。その後、プラン見直し案を作成し、運営委員会の諮問を経て、12月中旬にホームページ等で見直し後のプランを公表。	
その他特記事項		本計画においては毎年点検・評価を行い、計画が達成出来ない場合は更なる費用の削減、増収対策を行い一般会計と協議しながら繰入金が増額等により単年度資金不足額の水準達成を図り計画を実行いたします。また、累積ベースの資金不足(様式2の(H)の額)解消後(27年度以降)は、新たな単年度資金不足を発生させないこととする。	

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度							
		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度	25年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	1,878	1,573	1,420	1,443	1,315	1,240	1,367	1,367
	(1) 料 金 収 入	1,735	1,542	1,283	1,290	1,153	1,218	1,224	1,224
	(2) そ の 他	143	31	137	153	162	22	143	143
	うち他会計負担金	116	0	113	126	139	0	125	125
	2. 医 業 外 収 益	65	26	61	116	189	94	178	178
	(1) 他会計負担金・補助金	40	0	37	99	133	78	164	164
	(2) 国 (県) 補 助 金	18	19	20	13	12	12	12	12
	(3) そ の 他	7	7	4	4	44	4	2	2
	経 常 収 益 (A)	1,943	1,599	1,481	1,559	1,504	1,334	1,545	1,545
	支 出	1. 医 業 費 用 b	1,916	1,874	1,673	1,581	1,468	1,509	1,551
(1) 職 員 給 与 費 c		727	711	626	600	558	535	570	570
(2) 材 料 費		712	675	596	580	499	585	557	557
(3) 経 費		364	378	370	345	369	354	390	390
(4) 減 価 償 却 費		107	108	78	54	40	32	32	31
(5) そ の 他		6	2	3	2	2	3	2	2
2. 医 業 外 費 用		86	76	54	51	88	58	46	46
(1) 支 払 利 息		34	31	12	11	11	10	4	4
(2) そ の 他		52	45	42	40	77	48	42	42
経 常 費 用 (B)		2,002	1,950	1,727	1,632	1,556	1,567	1,597	1,596
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	-59	-351	-246	-73	-52	-233	-52	-51	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	1	0	0	0	0	525	53	52
	2. 特 別 損 失 (E)	1	1	1	1	1	1	1	1
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	-1	-1	-1	-1	524	52	51
純 損 益 (C)+(F)	-59	-352	-247	-74	-53	291	0	0	
累 積 欠 損 金 (G)	479	831	1,078	1,151	1,204	911	911	911	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	372	302	252	384	265	410	322	322
	流 動 負 債 (イ)	479	651	473	624	517	328	240	240
	うち一時借入金	300	500	330	480	420	50	50	50
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 差引 不良債務(オ) [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)]	107	349	221	240	252	-82	-82	-82
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	98.0	82.0	85.8	95.5	96.7	85.1	96.7	96.8	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	5.7	22.2	15.6	16.6	19.1	-6.6	-6.0	-6.0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	98.0	83.9	84.9	91.3	89.6	82.2	88.1	88.2	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	38.7	45.7	44.1	41.6	42.4	43.1	41.7	41.7	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	107	349	570	589	601	-82	-82	-82	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	5.7	22.2	40	40.8	45.7	-6.6	-6.0	-6.0	
病 床 利 用 率	63.5	45.3	43.9	41.8	36.4	38.6	38.5	38.5	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度	25年度
収 入	1. 企業債	86	269	349				3	
	2. 他会計出資金	5	5					43	
	3. 他会計負担金	0	173	85	123	104	450	8	8
	4. 他会計借入金	0							
	5. 他会計補助金	0					170		
	6. 国(県)補助金	0		2					
	7. その他	0							
	収入計 (a)	91	447	436	123	104	620	54	8
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0							
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0							
純計(a)-(b)+(c) (A)	91	447	436	123	104	620	54	8	
支 出	1. 建設改良費	86		2			170	46	
	2. 企業債償還金	183	447	141	123	104	450	8	8
	3. 他会計長期借入金返還金	0							
	4. その他	0							
支出計 (B)	269	447	143	123	104	620	54	8	
差引不足額 (B)-(A) (C)	178	0	-293	0	0	0	0	0	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	15							
	2. 利益剰余金処分量	0							
	3. 繰越工事資金	0							
	4. その他	163							
計 (D)	178	0	0	0	0	0	0	0	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	-293	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	-293	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度	25年度
収 益 的 収 支	(0)	(0)	(0)	(0)	(72,000)	(524,823)	(53,199)	(52,149)
	155,000	489	150,180	224,672	271,542	602,823	342,220	341,012
資 本 的 収 支	(0)	(103,316)	(0)	(0)	(0)	(450,177)	(3,117)	(3,191)
	5,000	177,511	85,229	122,854	103,994	450,177	7,780	7,988
合 計	(0)	(103,316)	(0)	(0)	(72,000)	(975,000)	(56,316)	(55,340)
	160,000	178,000	235,409	347,526	375,536	1,053,000	350,000	349,000

(注)

1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。